



ポプラ夏

岡崎平和学園
後援会協賛
H22. 7. 31
NO. 362

今年の夏も多くの方にご協力いただいて、たくさんの思い出を作ることができました

5月3日 マス釣り



今年もまたご招待をいただきました。本物の魚に子どもたちは驚いていました。魚に触れることのできる子ども、触るのに躊躇する子ども様々でしたが、楽しい思い出を作らせていただきました。

5月14日 園内研修



「不適切な関わり」というテーマで中部大学の准教授、日々野先生から貴重なお話をいただきました。職員一同、身の引き締まる思いで研修を終えました。

5月21日
デンソー学園 ボランティア



今年、初めてボランティア活動をしていただきました。児童養護施設とはどのような所かを皆さんに知って頂き、また、暑い中一生懸命清掃を行っていただきました。

5月22日
トヨタSX会 ふれあいボランティア

今年は217名の方々が平和学園の児童との関わりの中で、ふれ合いながら、何か子ども達の将来に繋がる活動を！と、園内外の清掃、自転車の修理、レクリエーションを子どもたちと行ってくれました。



6月13日
ドッジボール大会

天候が危ぶまれましたが、楽しく、白熱した試合で終了することができました。今年、新たにお楽しみドッジボールでドッジビーを行いました。ボールとは一味違うフリスビーの回転を楽しみました。子ども会や地域の方約50人、ボランティアの方約20人の多くの参加もあり、日頃からの御支援もありがとうございます。



6月19日
トヨタ上郷工場ソフトボール大会

トヨタ上郷工場の皆さんにレクリエーション、ソフトボールを楽しませていただきました。上郷工場の皆さんの温かい関わりの中で、高校生も中学生も無邪気に、また、真剣に楽しむ事ができました。人の温かさに触れることの大切さを実感する機会となりました。



6月27日
DECOスクール



子どもたちは、自然やECOについて楽しみながら学んでいました。



7月3日
イヴ音楽コンサート



素敵なまたユーモアの効いた生演奏に子ども達も楽しいひと時を過ごさせて頂きました。演奏後にも大切な楽器を間近で見させて触らせていただき、貴重な体験をすることができました。

7月4日
桑谷山荘バイキング招待



桑谷山荘さん40周年記念のバイキングにご招待いただきました。三味線を聞かせていただいたり、お寿司に刺身、てんぷらなど豪華な食事をいただきました。
学園からは金木犀を植樹させていただきました。



7月7日 園内研修



「食育について」というテーマで榎本美晴氏から貴重なお話をいただきました。食育とは本当に大切と思っていましたが、改めて子ども達の成長に必要なことを少しずつ行っていきたいと思います。

7月11日、25日
フット大会



今年も竜美新町さんとの合同チーム!!仲良く力を合わせて頑張っています。2年連続ブロック大会優勝。次は、岡崎市の大会に出場します。最後まであきらめずに頑張ります。

7月17日
上郷まつり



毎年、子ども達はとても楽しみにしているお祭りです。盆踊りでは、温かく子どもたちと一緒に取り込んでいただき、子どもたちは大はしゃぎ!夏のいい思い出となりました。夏休みの思い出日記には、早速、上郷工場夏祭りの事を書く子も!



4月から5月まで、様々な方々が平和学園の子ども達へ多くのご支援を頂きました。暑い中、園外清掃を毎日行ってくれる方々。おやつと一緒に!とほほ笑いクラブの皆様。おいしい野菜を振る舞っていただいた岡崎ローターアクトクラブ・小久井農場の方々。デンソー幸田製作所の方々。発信の元、夏休み学習ボランティアとして、デンソー内外から12名の方が平和学園の子ども達に宿題や、受験に向けて優しく学習のお手伝いをしていただきました。今年より社会福祉協議会の方々のボランティア講習会がきっかけのもと、サッカークラブのコーチをしていただきました。岡崎ボランティアセンターからは多くの方を紹介していただき、平和学園を多くの方に知って頂くいい機会を下さっています。日頃からの支援ありがとうございます。

平成21年度決算報告(抜粋)

(単位 千円)

| 科目 | 合計 | | 本部 | 施設 |
|----------------|---------|-------|--------|---------|
| | | (割合) | | |
| 措置費収入 | 208,710 | 84.2% | 102.1% | 208,710 |
| 経常経費補助金収入 | 23,699 | 9.6% | 179.4% | 23,699 |
| 寄付金収入 | 4,104 | 1.7% | 241.7% | 3,300 |
| 雑収入 | 5,904 | 2.4% | 123.9% | 804 |
| 借入金元償還補助金収入 | 1,687 | 0.7% | 84.4% | 5,904 |
| 引当金戻入 | 1,527 | 0.6% | - | 1,687 |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 2,350 | 0.9% | 100.0% | 1,527 |
| | | | | 2,350 |
| 事業活動収入 | 247,981 | - | 108.5% | 3,300 |
| 人件費支出 | 156,587 | 65.5% | 108.7% | 244,681 |
| 事務費支出 | 15,174 | 6.3% | 99.1% | 66 |
| 事業費支出 | 56,781 | 23.7% | 103.8% | 15,108 |
| 減価償却費 | 9,009 | 3.8% | 98.0% | 56,781 |
| 引当金繰入 | 1,586 | 0.7% | - | 9,009 |
| | | | | 1,586 |
| 事業活動支出計 | 239,137 | - | 106.1% | 66 |
| | | | | 239,071 |
| 活動収支差額 | 8,844 | - | 271.1% | 3,234 |
| | | | | 5,610 |



経営面の透明性と現場職員との連携を大切に、今後も子どもたちや職員の立場に立って行動し、誰からも信頼される事務職員を目指すとともに、子どもたちが「すこやかに」成長できる学園づくりを行ってきたいと思います。

事務員 山田

フリーメッセージ

自らを鼓舞できる人として

園長 上川 清玄

集中豪雨による被害の報道がさめやらないうちに、猛暑による熱中症対応のニュースが流れる。自然界も人間社会の悪影響を受けたかのように、異常な現象が続く。

そんな中、幼小中高生は1学期の終業式を終え長い休みに入った。1学期の学校生活のガンバリ度を伝える通知表を、担当の先生に差し出す仕草に一人ひとりの思いの様が表れる。特に、中高生ともなれば自らの夢に直結していくだけに、悲喜こもごもである。

一方、私たちもお預かりしている子どもたちが「このような子どもに」育って欲しいと、次の5項目の目標を設定して取り組んでいる。○人に好かれる子に ○人が頼りとする子に ○正直な子に ○思いやりのある子に ○勤勉な子に、

学期の節目にこの5項目（各項目毎に8つの視点）の振り返りをし、たとえ、小さな子・学校の教科学習が苦手な子であっても、こうした、人としての徳性を備えて欲しいと願っている。「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分だ」と、自らを鼓舞できる人としての成長を。

中長期計画

期間：平成22年度～平成26年度
児童養護施設 岡崎平和学園

児童養護施設の現状と方向性

現状

- ・重篤化・困難化するニーズをめぐる課題（被虐待児や発達障害児等の入所増加による課題）
- ・施設機能に関する課題（自立支援・家庭支援・家庭的養護等に関する課題）

方向性

- ・子ども権利擁護の強化
- ・基礎養育の充実（リービングケアの充実）
- ・養育の専門性の強化（被虐待児や発達障害児や知的障害児等へのケア機能の強化）
- ・家庭的ケア・小規模ケアの充実
- ・職員の質と専門性の向上
- ・家庭支援とアフターケアの充実
- ・自立支援の充実
- ・地域資源との連携強化（地域・ボランティア等）



主要事業

- ・児童養護施設 70名定員
- ・地域小規模児童養護施設 6名定員
- ・ショートステイ

ビジョン

- 1 児童の権利擁護の強化とケアの質の向上に向けた取組み
- 2 要保護児童の増加とニーズの質の変化に対応する取組み
- 3 人材育成と専門性確保のための取組み
- 4 自立支援の強化と家庭的養護の拡充
- 5 地域資源の開発と地域福祉の充実への取組み
- 6 施設整備の促進



ビジョンに向けた取組み

- 1 苦情解決、児童会、アンケート等の充実と活用を図り、施設内において権利侵害がおこらぬように予防・対策を充実させていき、子どもたちが安心・安全を実感できる養育の実現をすすめる。
- 2 被虐待児・発達障害児・知的障害児等の増加に対応するために、個別的な援助を可能とする職員配置を検討するとともに、家庭支援専門員・個別対応職員・心理士を中心に、ニーズの変化に対する組織としてのケアの充足を図る。
- 3 園内研修の実施と園外研修の積極的な参加をすすめて、研修成果の効果的な現場への還元体制の充実を図る。それにより職員の質・専門性の向上を図る。また、職員が働きがいのある場を目指して福利厚生も充実させる。
- 4 リービングケアの中で一人の人間としての基礎を培う養育を目指していき、自立支援計画を有効に活用しながら適切な自立支援を図る。アフターケアについても、家庭支援専門員を中心に継続したケアの連続性を確保する。家庭的養護には、地域小規模児童施設との充実と本園においても家庭的な場と環境の充実を図る。
- 5 ボランティアや地域と協同した交流を促進していき、施設が地域に開かれた場になるようにすすめる。多面的な支援を進めながらも、施設が地域に貢献していける体制を充実していく。
- 6 木を利用したよさをいかした心地よい空間作りに努める。施設・設備整備については、計画的な実施していくとともに必要箇所については迅速に対応していく。

*その他にも、中長期の資金計画、施設整備・設備整備計画、職員人員計画を作成